令和四年学力検査

全日制課程　B

第一時限問題　国語

検査時間　九時十分から九時五十五分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注　意

(一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。

(二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。

(三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。

(四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。

(五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。

(六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号
第　　番

◇M1(816—1)

国語

一　次の文章を読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

1

2

3

4

著作権保護のため
非表示

5

6

著作権保護のため
非表示

7

8

著作権保護のため
非表示

9

著作権保護のため
非表示

（増井元はじめ『辞書の仕事』による）

（注）○ 1 ～ 9 は段落符号である。
○ 逸脱＝それること。
○ 便宜＝都合のよいこと。
○ 『広辞苑』＝国語辞典の一つ。

（一）① ことばの正しさ について、筆者の考えを説明したものとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　社会の中で生きていることばは時代とともに必ず変化しているため、一つに限定された正しい意味というものはない。

イ　いつの時代でもどんな場面でも、一つの単語に対応した不変で普遍的な意味領域をもつことがことばの正しさである。

ウ　ことばの意味は時間とともにもとの意味から逸脱していくため、現時点で多くの人が用いていれば正しい意味となる。

エ　多くの人が使っていることばの意味から曖昧さを除き、厳密に定義しなければことばの正しさを保つことはできない。

4B

(二) 〔 A 〕にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア のちのち　イ ますます　ウ すらすら　エ せいぜい

(三) ②対象を捉えようとして向けた視線、その向きがことばの意味というものであろう とあるが、このように筆者が考える理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア ことばの意味とは特定の世界だけで通用する約束ではなく、どのような人が用いても変わらない厳密なものだと考えているから。

イ ことばの意味とは使い方を限定した取り決めではなく、広がりがあって多くの人に共有されている捉え方であると考えているから。

ウ ことばの意味とは曖昧なままで使用されるものではなく、使用される範囲は限定的で厳密なものであるべきだと考えているから。

エ ことばの意味とは長い時間を経ても変わらないものではなく、使われる時と場面によってそのつど意味が異なると考えているから。

(四) この文章中の波線部の説明として最も適当なものを、次のアからオまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第一段落の「楽天的」には、辞書の読者に対してことばの将来に明るい展望をもってほしいという期待が込められている。

イ 第三段落の「気づいては」には、たまにしかことばの変化や乱れに気づけない辞典の読者に対する残念な思いが込められている。

ウ 第四段落の「深い信仰心」には、ことばの意味を正確に記述する辞典に信頼を寄せてくれる読者への感謝が込められている。

エ 第五段落の「厳密屋さん」には、ことばの定義を徹底的に追究しようとしている人々の熱意に対する敬意が込められている。

オ 第八段落の「称して」には、厳密さを求めるためにことばの意味を限定する考え方に同意できない気持ちが込められている。

(五) 次の文章は、本文を読んだある生徒の感想をまとめたものであるが、文の順序が入れ替えてある。筋道が通る文章とするためにアからオまでを並べ替えるとき、二番目と四番目にくるものをそれぞれ選び、そのかな符号を書きなさい。

ア この経験から、一つのことばが表す世界の幅広さを理解しました。ですから、クラスで話し合って合意を形成する際には、まずそれぞれがテーマ（ことば）から考えた意味を出し合ってことばの「はば」を確認し、クラスとしてどう捉えるかを決めることが大切ではないでしょうか。方向性を定めて共有できれば、そこからさまざまなアイデアが生まれてくると思います。

イ 筆者は「ことばには『はば』がある」と述べていますが、私にも、まさにこのことばの「はば」というものを実感した経験があります。

ウ そこで私たちは、議論を深めるために「暮らしやすい」ということばの意味を限定し、共有することにしました。結局、私の考えた「お年寄りや子どもが安心して暮らせること」になりましたが、「はば」のあることばの意味を一つに限定して共有することで話し合いの方向性が定まり、さまざまな世代が交流できるイベントを考え、クラス全体に提案することができました。

エ　そのときグループの一人が、「そもそもみんなは『暮らしやすい』ということばをどういう意味で使っていますか」と聞いたのです。私は「お年寄りや子どもが安心して暮らせること」と答えましたが、「公共の交通手段が整備されていること」であったり、「いろいろなお店がそろっていて便利なこと」であったりと、それぞれ異なっていました。

オ　それは、ホームルームでグループに分かれ、「私たちの住む街を暮らしやすくするために何ができるのか」をテーマに意見を述べ合ったときのことです。グループの中でそれぞれの考えを出し合いましたが、そこから議論は深まりませんでした。

二　次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一)　次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

①　街路樹の枝が自転車の通行を妨げている。

②　読まなくなった本を整理し、棚にシュウノウした。

(二)　次の③の文中の傍線部に用いる漢字を、あとのアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

③　窓には、通風やサイ光の役割がある。

ア　済　　イ　裁　　ウ　催　　エ　採

三　次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1　2　3

著作権保護のため
非表示

4

著作権保護のため
非表示

6　　5

著作権保護のため
非表示

（限研吾『小さな建築』による）

（注）○ 1〜6 は段落符号である。
○リスボン大地震＝一七五五年十一月一日に発生した巨大地震。ポルトガルのリスボンを中心に大きな被害が生じた。
○ハコモノ建築＝ここでは、公共事業で建設された施設のこと。
○媒介＝二つのものの間をとりもつもの。
○舵を切る＝ここでは、方針を転換する。
○ハンドル＝扱うこと。
○OS＝オペレーティング・システムの略。ここでは、建築の基本的な材料の意味で用いられている。
○バリケード＝ここでは、侵入を防ぐために設置する資材のこと。
○レゴブロック＝プラスチックの部品を組み合わせていろいろな造形をするレゴ社製の玩具。
○極致＝ここでは、それ以上は行き着くことができない状態のこと。
○ジョイント＝接合。　○孔＝くぼみ。

(一) ① 「大きなシステム」の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア　近代以降、人間に自分の弱さや小ささを自覚させてきたものであるが、一方で人間のこれからの可能性を感じさせてくれたもの

イ　近代以降、人間が壮大な世界と自らをつなぐものとして求めてきたものであるが、逆に人間と世界を切り離すことになったもの

ウ　近代以降、人間は世界と自分をつなぐことの重要性を認識するようになり、その目的を達成するために人間が手作業で作ったもの

エ　近代以降、人間の弱さや小ささを痛感して開発されてきたものであり、建築をはじめあらゆる分野で人間を幸福にしてきたもの

(二) ②「小ささ」とは何かを考えなくてはいけない とあるが、筆者が考える「小ささ」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 小さくて非力な人間と同様に、弱々しくすぐに壊れてしまうこと
イ 身近で親しみやすいが、手を加えることは簡単にできないこと
ウ 全体の小ささではなく、単位として適切な大きさや重さであること
エ 人間の身体に合わせて、全体の大きさが縮小されているということ

(三) 〔A〕、〔B〕にあてはまる最も適当なことばを、次のアからカまでの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア しかも　イ やがて　ウ いかに　エ とうてい
オ ところが　カ あたかも

(四) 筆者は第四段落で、「水のレンガ」で建築を作ろうと思い立った理由について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「身体」、「合理的」という二つのことばを使って、「「水のレンガ」は、……」という書き出しで書くこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
・文は、一文でも、二文以上でもよい。
・下の枠を、下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

「水のレンガ」は、

80　70

(五) ③コンクリートでできた巣 ということばに込められた筆者の気持ちとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 感服　イ 皮肉　ウ 憧れ　エ 妬み

(六) あとのアからオまでは、本文を読んだ生徒五人が、次の参考文も踏まえて、筆者の建築に対する考えをまとめたものである。その内容が本文及び参考文に書かれていない考えを含むものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

(参考文)

著作権保護のため
非表示

（隈研吾『点・線・面』による）

（注）○ 表象＝象徴。イメージ。
○ ポスト工業化の社会＝工業化社会の次に現れる社会。
○ ピース＝断片。

ア　本文と参考文のいずれにおいても、筆者が目指しているものは、工業化社会からの脱却である。人々は、コンクリートという強く大きな塊に頼ってきたが、世界と切り離され、幸せではないことに気づいた。今、大切なのは、小ささや「点・線・面」という物のあり方である。

イ　筆者は、「小さな建築」に必要な「小さな単位」として水のレンガを考案し、建築する試みを行った。さらに近年では、同じ「小さな単位」として小さな木のピースを用い、全体は大きくても目の前にあるのは小さな点や線という国立競技場の完成に至った。筆者のテーマ「コンクリートから木へ」が形になったといえる。

ウ　筆者は、二十世紀を工業化社会、二十一世紀をポスト工業化社会と捉え、その上で建築に用いる素材の違いに注目している。一度作ると簡単には壊せないコンクリートで作った建築よりも、パラパラとした開放感のある、木を素材とした建築が求められる社会が来ることを予想している。

エ　人間は、コンクリートによる「大きな建築」に閉じ込められた生活を幸福と錯覚していたことへの反省から「小さな建築」を目指すようになった。そこで筆者は、国立競技場に見られるように、全国から集めた木を用いて建築を作っている。これは自然への回帰と自然保護の両立を図ろうとする試みである。

オ　筆者は、「小さな建築」を建築全体の小ささと捉えるのではなく、何を用いて作るかを問題としている。本文では、身近な場所で利用されているものからヒントを得た水のレンガを考案し、建築に応用する過程が語られている。また参考文では、小さな木のピースを使って作り上げる建築が紹介されている。

四 次の古文を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

著作権保護のため
非表示

（『不尽言』による）

（注）○前にいへるごとく＝本文の前に「いにしへにありし事は、今日の上にちやうど似たる事多くあるものなれば」という記述がある。

(一) ①いにしへ は歴史的かなづかいである。これを現代かなづかいになおして、ひらがなで書きなさい。

(二) ②脇目百目（わきめひやくもく） ということばの意味として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 当事者よりも第三者のほうが物事を難しく捉えてしまうこと
イ 当事者よりも第三者のほうが物事の深みを感じられること
ウ 当事者よりも第三者のほうが物事の是非を見極められること
エ 当事者よりも第三者のほうが物事を厳しく評価してしまうこと

(三) ③立ちかへつて思案をめぐらし見れば の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア これまでの行動を振り返ってよく反省してみると
イ 現在の視点から過去のことをあれこれ考えてみると
ウ 家に戻ってから対局をじっくり思い出してみると
エ 囲碁をした場所を訪れて様子をうかがってみると

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 現在の出来事には過去の出来事と似ているところがあり、過去の失敗を知ると今やるべきことに思い至ることが多い。
イ 現在よりも過去のほうが善悪の判断基準がはっきりしていたため、歴史を学んだ人には適切に善悪を判断できる人が多い。
ウ 過去の出来事が複雑にからみ合って現在の出来事があるため、過去を学ぶことで今を深く理解することができる。
エ 過去の失敗に学ぶという点で歴史と囲碁には通じるものがあり、歴史を学んで得たことは囲碁に生かすことができる。

（問題はこれで終わりです。）

令和四年学力検査　解答用紙　全日制課程B

第一時限　国語

一

(一)

(二)

(三)

(四)

(五)　二番目（　　）　四番目（　　）

※一　1点×3　2点×2

二

(一)　①　げて　②

(二)　③

※二　1点×3

三

(一)

(二)

(三)　A（　　）B（　　）

(四)　「水のレンガ」は、

(五)

(六)

80　70

※三　1点×4　2点×2

四

(一)

(二)

(三)

(四)

※四　1点×4

受検番号　第　番

得点　※

（注）※印欄には何も書かないこと。

第１時限　国語正答　全日制課程　B

一

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)
ア	エ	イ	オ	二番目（オ）四番目（ウ）

二

(一)	(二)
① さまた（げて）	③
② 収納	エ

三

(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)
イ	ウ	A（ア）B（ウ）	「水のレンガ」は、人間の身体がハンドルしやすい大きさ、重さであるだけでなく、自由に重さを変えることができるため、合理的で気楽な構造システムとなるから。（80字 / 70字）	イ	エ

四

(一)	(二)	(三)	(四)
いにしえ	ウ	イ	ア